大電では罷業者中から百五十名を解雇した

外に待命が八十九名ある 職工間では大不満

大電争議の最近終が発した唯一の罷業だった解雇者並に復職者数は愈々二十一日正午発表された、此の通知状に接した職工連が今後如何なる態度に出るか其の出様によつては更に一紛争あるであらう

発表の内容

一、罷業中の解雇者数　八百七十九名
一、廿一日現在の復職者　三百七十七名
一、の差引職工数　五百二名
右の五百二名中
一、解雇者　百五十名
一、復職者　三百五十二名
復職者の内訳
一、両発電所従業　百八十名
一、転勤者　八十三名
一、待命者　八十九名

これが発表の骨子で、右の出勤職工三百五十二名は一見非常に多い様に見ゆるが、これは最初大電が調査した八百七十九名の中五百名を復職者と見做した所が事実に於いて三百七十七名しか出勤しなかつたために実際には百二十三名の不足がある、これを今回新しく勘定したもの

[illegible]

罷業職工連は会社の処置を不承認 復職せざる事を決議

[illegible]

宮崎社長曰く

[illegible]

田中警察部長曰く

[illegible]

見後田中警察部長は語る
大電の声明に就ては同事項を受けた訳でなければ又内容も聞いて居らぬから従つて之に対する批評も出来ぬ、私は両者の会見に於て会社は従来の態度を持して呉れたものと信じて居る、今度会社側に会つたが職工側も非常に穏かであると聞いた、解雇職工の数は百四十五名であるやうに聞いた云々

西尾、東、両友愛会幹部曰く

右に就き西尾、東、両友愛会幹部は語る
会社の回答は能よく仲裁者の顔を潰したものであるが罷業団員全部は[illegible]全部止めて終ふと言つて居るから[illegible]

[illegible]

待命期間は当分の間は給料を支給すること

[illegible]

劇場焼く

[illegible]

辞令を書留郵便で 大電職工最後の処置 馘首された者百五十名

[illegible]

「日本の労働史の上に大きな時代を劃した」 宮崎大電社長は語る

[illegible]